

DISPERBYK-2170

水系および溶剤系塗料での着色剤の色受容性を向上させる、無溶剤系相溶化剤。後添加にも有効。

製品データ

組成

ポリウレタン

一般性状

本データシートに記載された数値は代表値であり、品質規格ではございません。

密度 (20 °C): 1.07 g/cm³
PH (水中 1 %): 9.0
有効成分: 100 %
アミン価: 6.5 mg KOH/g
形状: 液体

貯蔵および輸送

未開封の元の容器での製品の品質保持期間： 36 月
50°C以下の温度で保管および輸送すること。

適用分野

塗料

特長

- 以下の場合、着色剤の色受容性を向上させる優れた相溶化剤（例：商業用着色剤など）として適用：
 - ベース塗料に後添加する場合
 - 共分散剤としてミルベースに添加する場合
- 複数の種類の顔料親和基を有する分子構造により、：
 - 溶剤系および水系における幅広い相溶性
 - 幅広い顔料親和性
- 発色性を高め、長期的な色安定性を向上
- 顔料の凝集や浮きを低減
- ある種の系において沈降防止効果をもたらし、缶内安定性を向上
- 単独の湿潤分散剤としても使用可能

推奨用途

DISPERBYK-2170は、水系および溶剤系塗料に適しています。

木工および家具用塗料	☒
建築用塗料	☐

☒ 最適 ☐ 適

推奨添加量

着色剤の色受容性向上を目的とした相溶化剤として使用する場合、全配合に対して、0.5-2 %
共分散剤として使用する場合、全配合に対して湿潤分散剤として、10-50 %

上述の添加量は初期値として適用して下さい。最適添加量は実際に試験を行い、決定して下さい。

添加方法

後添加用の相溶化剤として使用する場合:

着色剤の色定受容性を向上させるため、この添加剤は低せん断力下で塗料に後添加することができます。

ミルベース用相溶化剤として使用する場合:

最適な性能を得るためには、顔料を添加する前に、この添加剤を他の湿潤分散剤とともにミルベースに添加してください。

湿潤分散剤として使用する場合:

本添加剤は、顔料を添加する前にミルベースに添加する必要があります。顔料は、本添加剤が完全に分散してから添加してください。



BYK-Chemie GmbH

Abelstraße 45
46483 Wesel
Germany

Tel +49 281 670-0

info@byk.com
www.byk.com



Download
our app:
byk.com/app

ANTI-TERRA®, AQUACER®, AQUAMAT®, AQUATIX®, BENTOLITE®, BYK®, BYK-AQUAGEL®, BYK-DYNWET®, BYK-MAX®, BYK-SILCLEAN®, BYKANOL®, BYKCARE®, BYKETOL®, BYKJET®, BYKONITE®, BYKOPLAST®, BYKUMEN®, CARBOBYK®, CERACOL®, CERAFAC®, CERAFLOUR®, CERAMAT®, CERATIX®, CLAYTONE®, CLOISITE®, DISPERBYK®, DISPERPLAST®, FULACOLOR®, FULCAT®, GARAMITE®, GELWHITE®, HORDAMER®, LACTIMON®, LAPONITE®, NANOBYPK®, OPTIBENT®, OPTIGEL®, PURABYPK®, RECYCLOBYPK®, RHEOBYPK®, SCONA®, SILBYPK®, TIXOGEL® および VISCOBYPK® は、BYK グループの登録商標です。

ここに記載されている情報は、当社の現在の知見と経験に基づくものです。ここに記載されている製品およびデータまたは情報に関して、明示的または黙示的かを問わず、いかなる種類の保証または確約も行われません。これには、製品性または特定目的への適合性の保証も含まれます。また、第三者の知的財産権を侵害することなく、これらの製品、データまたは情報を使用することについても、一切の保証はありません。製品の適合性、使用、または適用に関する情報は拘束力を持たず、製品の特性、使用、または適用に関する責任を負うものではありません。契約条件、特に、合意された製品仕様が常に優先されます。当社製品を使用する前に、お客様の目的に対する適合性を判断するために予備試験で製品をテストすることをお勧めします。当社は、ここに記載されている情報に対して予告なく変更を加えたり、更新したりする権利を有します。